

月刊しばうら

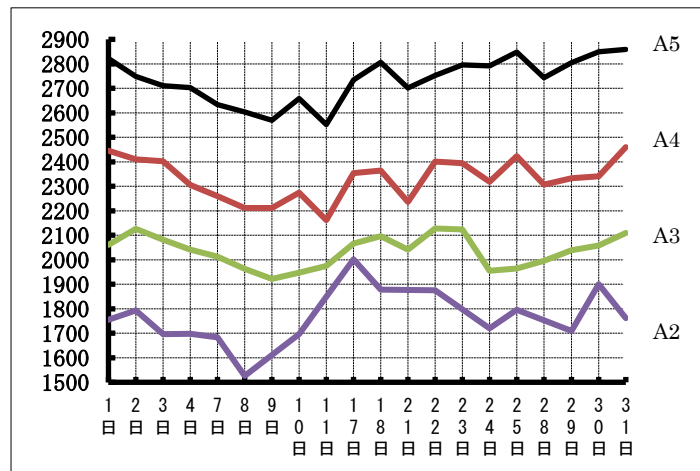
2017年9月号

大動物事業部

<8月の相場動向>

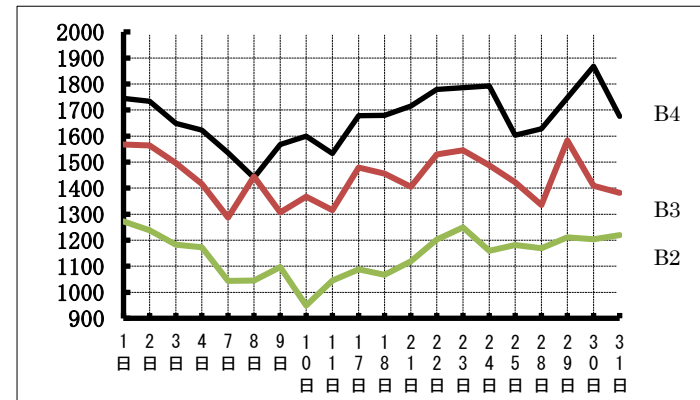
和牛去勢 A5 が前月比 85 円安の 2,750 円、同 A4 が 90 円安の 2,351 円、同 A3 が 87 円安の 2,040 円、同 A2 が 106 円安の 1,764 円となり、交雑去勢は B4 が 45 円安の 1,672 円、同 B3 が 17 円安の 1,446 円、同 B2 が 35 円安の 1,151 円となった。8 月に入り特に東日本では天候不順が影響し、行楽需要の不振や引き続き末端需要の低迷などから和牛・交雑ともに前月の相場を下回る相場動向となった。

和牛去勢 日別相場表 (8月)



和牛去勢	月平均	前年同月比	前月比
A5	2,750 円	98.2%	97.0%
A4	2,351 円	92.3%	96.3%
A3	2,040 円	85.8%	95.9%
A2	1,764 円	80.8%	94.3%

交雑去勢 日別相場表 (8月)



交雑去勢	月平均	前年同月比	前月比
B4	1,672 円	90.0%	97.4%
B3	1,446 円	84.6%	98.8%
B2	1,151 円	77.7%	97.0%
乳牛去勢	月平均	前年同月比	前月比
B3	上場なし	—	—
B2	935 円	96.0%	99.8%

<9月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した貿易統計による 7 月の牛肉輸入通関実績は前年比 2.4%減の 5 万 6,434 t となった。うちチルドは 4.7%増の 2 万 2,042 t、フローズンは 6.5%減の 3 万 4,392 t となった。フローズンは前年同月の数量が多かったこともあり前年比では下回ったが、前月比では 7,575 t 増加している。8 月 1 日からの S G が確定したことで、未通関分をすべて通関したと見られる。農畜産業振興機構の予測による 9 月の牛肉輸入数量は前年比 10.8%増の 4 万 6,900 t と予測している。チルドは豪州産の減少が見込まれる一方で、米国産は出荷頭数増により大幅に上回ると見込まれ、19.8%増の 2 万 3,000 t、フローズンは 3.5%増の 2 万 3,900 t と前年を上回るが、過去 5 年平均を下回る水準で推移すると予測している。

輸入牛肉通関量		7月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	9,959	10,535	94.5%
	米国	11,138	9,639	115.6%
	その他	945	882	107.1%
	合計	22,042	21,056	104.7%
フローズン	豪州	13,849	19,071	72.6%
	米国	15,315	13,776	111.2%
	その他	5,228	3,920	133.3%
	合計	34,392	36,767	93.5%

単位：t 出典：食肉速報

<9月の全国出荷頭数予測>

農水省の食肉流通統計による 6 月の成牛と畜頭数は、前年比 1.2%減の 8 万 2,057 頭となり、和牛は 1.5%減の 3 万 4,021 頭、交雑種は 10.4%増の 1 万 9,097 頭、乳用種は 7.4%減の 2 万 8,089 頭だった。

農畜産業振興機構による 9 月の出荷予測頭数は、前年同月比 1.6%減の 8 万 4,500 頭と予測している。品種別にみると和牛は、0.2%減の 3 万 4,900 頭、交雑種は 2.8%増の 1 万 8,800 頭、乳用種は 7.9%減の 2 万 9,400 頭と乳用種の減少が依然として継続する見込み。また、平成 29 年 7 月～12 月のと畜頭数の見込みを発表した。和牛は、生産基盤の縮小に伴う出生頭数の減少が続いていたが、飼養頭数の回復により前年同期比 0.5%増。交雑種は、酪農家における乳用牛への黒毛交配率の上昇により増加が続いており約 3%増。乳用種は、離農などにより生乳生産基盤が縮小しているなどで約 5%減、合計では 1%減と見込んでいる。東京食肉市場の 9 月のと畜頭数は 7,200 頭を予定している。

<9月の牛枝肉相場見通し>

全国出荷頭数は依然として少ない中、末端需要は引き続き鈍い状況にあり好材料も少ないことなどからもちあいの相場展開が予測される。和牛の上物規格については、安定した外食需要に加え、産地フェアなども入る時期でもあり堅調な相場で推移すると予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,750～2,850	B4	1,600～1,700
A4	2,400～2,500	B3	1,400～1,500
A3	2,000～2,100	B2	1,100～1,200
A2	1,700～1,800		
乳牛去勢			
B3	1,100～1,150		
B2	900～1,000		

小動物事業部

食肉流通統計によると、7 月の全国と畜頭数は 123 万 493 頭（前年同月比 98.5%）となり前年より減少した。全国的に出荷頭数が少ない状況は継続しており、千葉や茨城といった関東近郊の産地でいまだに PED の影響もみられる。

また、7 月分の豚肉通関実績は、総量で 7 万 4,607t（前年同月比 112.7%）と前年より上回った。うちチルドが 3 万 199 t（同 108.8%）で内訳は、米国が 1 万 5,461 t（同 95.1%）、カナダは 1 万 3,884 t（同 131.4%）の大幅増、メキシコが 849 t（同 90.7%）とカナダが大幅に増加となった。フローズンも 4 万 4,408 t（同 115.5%）と前年を上回り、スペインが 1 万 880 t（同 141.6%）、デンマークが 8,457 t（同 107.7%）、メキシコが 6,437 t（同 130.6%）米国が 3,397 t（同 116.9%）、カナダが 3,590 t（同 115.8%）とスペインが大幅に増加した。

<8月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	58,100	704	683	544
2日	53,600	709	674	645
3日	59,900	710	680	549
4日	58,900	706	681	682
7日	54,400	673	648	732
8日	64,600	639	584	872
9日	64,200	653	608	662
10日	65,600	635	576	805
11日	—	646	592	664

上旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 5 万 9,912 頭と前年並みの頭数であったが、当市場においては平均 683 頭と前年を下回る上場頭数となった。月初から全国と畜頭数は 5 万頭台の展開が続いた。天候不良などもあり、末端需要は良くない中で相場は上昇傾向となり前半は 700 円を超える高値となった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
17日	66,200	637	603	841
18日	63,900	661	650	760
21日	59,400	625	594	631
22日	62,100	569	542	770
23日	57,300	562	547	725
24日	61,700	577	558	672

中旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 1,767 頭と前年をやや上回ったが、当市場の 1 日平均は 733 頭と前年を下回った。

旧盆明けの初セリとなった 8 月 17 日(木)は、全国頭数 6 万 6,200 頭となる中、当市場上場頭数は 841 頭となり、上物価格は強持ち合いとなった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
25日	58,600	591	578	1,001
28日	57,900	594	577	566
29日	61,600	603	585	735
30日	56,200	613	605	584
31日	60,500	635	623	530

下旬の全国と畜頭数は、平均 5 万 8,960 頭と前年を上回った。当市場の上場頭数は平均 683 頭と前年を下回る上場頭数となった。

学校給食の再開に向け、ウデ、モモなどのスソ物の荷動きは徐々に回復している。

<9月の豚枝肉相場見通し>

農水省による 9 月の全国と畜頭数は、135 万 9,000 頭（前年同月比 102%）と予測しており、一日当たりの頭数は約 6 万 8,000 頭である。当市場の 9 月の集荷予定頭数は 1 万 6,000 頭となっており、一日当たりでは約 800 頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構による 9 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 4,300 t（前年同月比 102.8%）の予測となっている。内訳はチルドが 3 万 1,300 t（同 98%）、フローズンは 4 万 3,000 t（同 107%）の予測である。

また 6 月における豚肉推定在庫量は、国産品が 1 万 6,381 t（前年同月比 77.4%）、輸入品は 16 万 4,835 t（同 103.6%）となり合計 18 万 1,216 t（同 100.5%）となった。推定出回り量は 15 万 2,386 t（前年比 105.2%）で前年を上回った。うち国産品は 7 万 2,826 t（同 105.5%）輸入品は 7 万 9,560 t（同 104.9%）であった。国内生産量は 7 万 1,476 t（同 100.2%）と前年を上回った。

今月は学校給食が再開となりスソ物の動きも堅調となる事が予想される。全国と畜頭数は 8 月後半でも増加傾向とはならず相場は反発傾向となった。

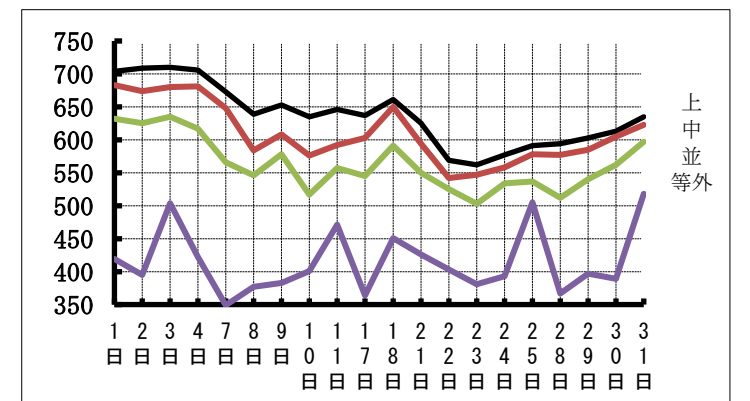
よって当市場の相場は上物平均価格で 580 円。中物平均価格は 550 円と予測する。

第 57 回農林水産祭参加 平成 29 年度東京食肉市場豚枝肉共励会が 8 月 23 日～8 月 25 日に開催され、全国 13 県 46 戸の生産者により出品頭数 1,000 頭の枝肉が出品された。

名誉賞に輝いたのは茨城県の(有)常陸牧場の出品豚で外観は均称優れ、肉質、脂肪質等が全てにおいて優れた極上等級の枝肉であった。枝肉単価 1 万 7,996 円（税抜）となり盛大に開催された。

出品者、買受人の皆様及び関係各位の方々のご協力ありがとうございました。

豚 日別相場表 (8月)



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>